糺物語

近實頌刊
蜀山人書入

857
16

国立国会図書館　タイトル『糺物語』 請求記号 857-16

ガラス使用

軽

紀物語

857
16

取扱注意

国立国会図書館　タイトル『紀物語』　請求記号 857-16

ガラス使用

帝国図書館蔵

昭和二年一月廿日

戸澤文庫

礼物語上

帝国図書館蔵

国立国会図書館　タイトル『乳物語』請求記号 857-16
カラス使用

かうてさうせやうんらいひやくらいせんいまもあゝ我もあ
くゝもあり　学問一物あらうとおもひたる大抵たるべつけやあり
ろうに大抵動じて湯とはもとそもとあつく湯ちがまら
て湯とはもとそもとあつくとあつくとあつく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

りてこれを爻象の大小を下筮爻象の
くくこれをおこりてこれを称八卦
八方に毎八方八卦をおくこれを称
おへてかれたきこれのこれをけつこれ
るこれをこれ八卦とこれをこれをつ
百二十四大易 二つを大初 二つを大始 四つを大業 八つを大極

未見気象也　氣始也　形始也　質始也　四合六象也

又大極を爻象とこれを爻象とこれを陰陽
又爻象これを爻象これを八卦大陽小陽
と二つをこれを時乾兌離震巽坎艮
二つをこれを十六の卦これを又これを
と二つをこれを時六十四卦の易
八八卦の一卦を八卦をこれを
うこれを時八卦をこれを
たこれをこれを

けこれを初極とこれを
せこれを取さたこれを
とこれをこれを
やこれをこれを
まこれの神をこれを
中をこれを
爻をこれを自法
合して混せこれを
乃極この一卦を
の自分をこれを
をこれを方法
の方法を変
まこれを
乃金神をこれを

かくりてきうせナさうんそもくめそちぐくれたまきるくりんぎ
きうれとゝまきくぶおんくゝりのたゝきうれ時ひくくとと
ゝんて天上天下唯我獨尊とくれうあくくゝあくくゝふくきゝ
十九の治年れ出家のさうれ三十九れくくゝ次よ十二年とくれ
三七日のぜつりくくゝ次よ十二年とくれ
年とくれのふと方便ゝくくゝ次よ十四
ゝくくゝ後とくれのふと妙法蓮華ゝくくゝ次よ八十年とくれ
けれゝくくゝ次よとくれのふと說善哭菩薩ゝくくゝ後一日一夜法のふ
とゝ和ゝんゝくくゝ如来合て八十年のれぜつりくくゝまくくゝそんれへ
滅のくりかせくゝおのんくゝのらくんとあゝりめ八十年れれぜつり
かくりとくれまくくゝとくれのふと後一ゝのくゝ
和くゝめ天竺のひくまくゝ後漢ゝくくゝくくゝ後漢の明帝永
平十年に月氏國のまくゝん摩騰迦葉の三人迦葉とゝくくゝと
持くくゝくくゝのふ時大唐一天下れ儒教渡日本
天月に儒教とくれくくゝとくれくくゝて次とくりけゝくて

さうんとい釈法ゝくくゝ月くくゝくくゝ後とくれ次とくりけゝ
儒教とくれけれくくゝくくゝくくゝ後とくりけゝくくゝ
くくゝ釈迦くくゝのくくゝ大唐唐高祖くくゝ
六百年後とくれて唐朝くくゝくくゝ仁王二年代とくれくくゝ天竺
の治代くくゝ月氏の国のまくくゝくくゝくくゝくくゝ
成後儒宣れくくゝくくゝくくゝくくゝくくゝ
とくりけゝ天竺万物出来くくゝくくゝ
て後すくれくくゝくくゝ
中宮とくくゝくくゝくくゝくくゝ
つくくゝくくゝくくゝくくゝ
くくゝくくゝくくゝくくゝ
くくゝくくゝくくゝくくゝ
くくゝくくゝくくゝくくゝ
くくゝくくゝくくゝくくゝ
くくゝくくゝくくゝくくゝ
くくゝくくゝくくゝくくゝ

かくのごとくまつ〳〵行かとおもふ〳〵歳もとるにつれ人数八万さいとなり
そ〳〵百さいよりつゝ次まり十歳よりさつまり又百歳よりつゝまり
て又そらとなりてこのひとゝ〳〵二十場減あつくゝ後ハ海や
ふゝ〳〵成と住を壊とやもみるしくゝて称ゝて本来なりて
堂絶のふるまひ〳〵さて天よりおつゝ元亨釋書といひ今よりあつ
てハ仏礼義智ゝいの〳〵踊ゝあらゆく時ハ書文献ゝとゝ
家角ゝてハ成ハ東住ハ南壊ハ西空ゝハ北ゝ
本住ハ火壊ハ食空ハ水〳〵又ゝ住ハ
く壊ハ白ゝ空ハ黒〳〵あゝハひとゝ時ハ成ハ
壊ハ赤ゝ空ハ青〳〵又ゝ住ハ赤ゝ中〳〵又ゝ時ハ成ハ
うんのゝ住ハ赤ゝんのゝ壊ハ白いのゝ空ハ黒ゝ
さて中央の脾乃さゝハ行りのゝ〳〵ゝ住ハ
を絶りを内ゝて光ハ東のるゝ乃るゝ南の月ハ乃るゝ
いゝ時中ゝ住ハ中ゝ住ハ東あゝ来ゝ南ハ
来ゝ〳〵ゝ〳〵ハ東西南ハ〳〵ゝ住ハ

国立国会図書館　タイトル『乳物語』請求記号 857-16
カラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八苦逸乃ところの衆生の地獄とは何のようなる所ぞと申すに十界あるうちの初は餓鬼界
とて人間の畜生の中に来かたまりてとりてはなれぬ
ものなり餓鬼とは人間乃ものを食ひ物をとりてはなれぬ
ものなり人間乃ものを食ひ物をとりてはなれぬ
ものなり天上乃ものを食ひ物をとりてはなれぬ
ものなり地獄乃ものを食ひ物をとりてはなれぬ
ものなり地獄乃ものを食ひ物をとりてはなれぬ
ものなり地獄

八十方三千世界すかうち和ふう一合へまきうひ乃ちわいこまを
ちゝうゝあに立ちゝもづんぶゝもけんぶゝまゝとゝうゝ
くゝ一四よ方法あまたゝうゝ和ふゝ和ふゝ和ふゝ
うゝゝおうゝへぢゝれいつよゝれいもゝ大ねゝありて地
ゝれゝゝちゝと郷ゝゝゝ

又夫かの時よりあとかの三ぢの夫へとをのちこゝろをもつて夫へいつくしみ
つゝしみてこゝろをつくしかの三ぢの夫にうらみをもつ事なかれ
水火と食とを時につけて三ぢの夫に表とをくるべきなり
ゆめゆめ一食のつゝしみを表とをくるべきなり
てゝ流のゆるんなくゝとかゝるまことなれハ▲同くゝ一四八
かゝるまことをもつてかんそをぶこうのくゝとをもつて經典とをよ
又ハとをへとをせうとをいすかゝるまことをひや▲言云玉みゝくされハ
ひらかゝるまことをもつてこんかとをいわ
乃ちれくゝ玉乃くゝに水火をとをいへたゝ海よりおいされハ
火とをもつて出ぶ月天をよ食とを
まこゝろを出くゝ我ホ方生ハ蠶の海よりさそれ一四よ
つを恵と出くゝ家ゝけゞ身とをくゝ海ひとをへと
そんざとて仏ハ法性の海よりうまれ出くゝ一切衆生
とをくゝひとをへまことをもつて夫ハ一神ありとをへたゝかゝるまこと出くゝ
ハ夫ハ神とをそんざとをハ神とをたゝかゝるまこと出くゝ夫へ

あるかゝてハけゝかゝる神へくゝ家ゝ方生ハ海のの
海ハ出ぶ三ぢのいくゝとをすこゝとをけゝ海ハ方生ハ海のの
のこゝろをまこゝろ仕くゝハ仏の海ハ海とをけゝ出ぶ海ハ海の
海のの海とをくゝ夫ハ完とをおゝさをんハ又ハ月の世ハ海くゝと
出ゝへまこゝろをまこゝろをハ▲同六道ハ海ハ恵とをハて
海くゝ海くゝ海ハ海くゝ海ハ海くゝ海ハ

人〻顔回孔子がいへ仏の勅命にて出仏法乃
弟子とし給へ又日本にて仏菩薩
げに仏法のたとへ又仏菩薩
ちれ給ふ神たちもあまた儒
をんの神たちの言葉もちひ
うら儒者仏法とあつこうを仏者
いへい儒者いよく仏法をそしり
き和もいへをまたこの仏をあこの人
をまんまこがまん山乃ごとし大海
して数こうる者八月の下に人ごと
あくあるを文をへこれ者あまた
りこうこちん乃神うんと宣ひ今
あ者とびくしして義食義ぬとこの
つこゆ光王八女者とうふ仏
ふりこれ者人いつまておこう

よあくとへこうあいあくしこを拙とうこひ肘とまげて枕とし
てたのしあら弦刑八乃いあまたへ今時の人〻を罪の源よ
ちひあるゆへかはこてこうら神〻へうこ神れいせうを醜牡人へ
と御函よ者こはふうまひとをんこの
つうこひくぐちひちるる男女仏神とうあ仏法とを
ちを弟しおこうを浄まくこうを
つひかをくく又儒仏一ちわ
あこうけうんまつの戒と流の書儒乃の者とを
八十者戒こを乃いろくの戒法こを
まひてこをとあこあ分とおこあ
こあ天下代おこあるとをこへ
とあこうのとをこへこを後の八十方こを世界乃こうくとんこう
これ乃のる事代乃こをこうとけ地とこう法界にこう乎
こをこうこうこうあく自性自在乃
ろれるとあふこをのぐちこう者ハ仏

やうにおもはれけるとぞ　仏のおしへ
ひろめ給ひし月氏震旦日域よりこの
ほど教ひろめ給ひし大師行法大師又は
上人解脱上人は二人ながら生身の
菩薩なりとぞ　仏法ひろまりぬるは
あれはつぶさにはしらず　▲問云出家
乃至八万の出家はいかなる男女とか
あらんずらん　答云男女とかやうの
輩のことにて　出家とこの
ごとくにて　ありしかども
ちかきころ
ほどの出家とは
くらべもなきなり
あらんずらん　▲答云此等の人々
ありしかども　仏法ひろまりぬ
とぞ　仏法ひろまりぬ
とぞ　仏法ひろまりぬ
とぞ

国立国会図書館　タイトル『糺物語』　請求記号 857-16

ガラス使用

糺物語中

国立国会図書館　タイトル『糺物語』　請求記号 857-16
ガラス使用

あくまでに観音菩薩とそいぐらのけさらとひくさの人部菩
れ下にいたく說是語時韋提希五百侍女同佛所願願時
即見極樂世界莊嚴之相得見佛身及二菩薩心生歡喜
歎未曾有也廓然大悟得無生忍五百侍女發阿耨多羅三
藐三菩提心願生彼國皆悉成就
佛言汝等當觀西方日沒之處
▲普云韋提希はさらは彼
彼南方はるかの人間の国はその中にとりて天下ぞのの
人はあまねく一天下ときくくいらもの人
つまり観音南方のさらはあるいはけれさと
あるいは実のさらはいいけれいはなるいは如来よりあれて
なるらの国へ出るのつへと十號記別法花三部經の中
まに韋提希ぞるぐつの十號記別
それは実の覺のあるるるるひとの皆とくくるつの
に来りてて成佛とるるつ法花より来りて成佛しるる
宗をむるるるるとはるるるして大海の一滴つる

光とやさはるるるる記光如来如来西方
ぐはは相如来かせんえんは陶浮那挓金光如来りくまんは
多摩羅跋栴檀香佛ふるるは法明如来おるんは山海慧
自在通王如来らるるは雲雷音宿王華如来は百
七百人は菩提如来宝蓋の三人は寶相如来けるんを
多宝如来は宝覺の三人は寶相如来は西だれひくに
は眞見如来方光相如来あるるぐはは天王如来ふるるる
るはのるるるるは法明如来はるるるるは生るるるそそ
くぐに西方むくぐるるは成仏
かけ経るるるるるるるるいぐはけれは大悲は観経西
るるるるて実のるるるるるるるるるるるるるるるる
るれは▲同云るるるるは出るるるるは人
如人るるるは上根上智るるるるるるるるるるるるるるる
ふるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
今時の悪人乃るるるるるるるるるるるるるるるるる

善男善女經下曰當来之世經道滅盡我以慈悲哀愍特
留此經止住百歳　如文殊師利菩薩所問經云
文殊師利菩薩言世尊若法滅盡時我以神力
令此經

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四の者はよのもとれいをうしなひ又無礼の者にはもとれい
をうしなひ[illegible]四の[illegible]とかの[illegible]
[illegible]法の教の邪教とかとしるべし[illegible]
ぶの実をえに給とれいはの教と法門とをうしなひ教乃意
と法門[illegible]故よ三教法門他のをしへと法門
とをいへ法花門自宗の後いとれとをして法佛本願我
所行佛名をいとりまつるみなを一切の法仏ちんぶつ
ぜいちんとをいはの法蓮華経うりもと一切衆生にまこせく
ちんらうまの実の本教のり教当宗本願弥陀如来
来迎のまこの出家とをして熱仏人生の実[illegible]
乃法華経とをいて大ようちうひの[illegible]法花一乗方便品曰
如我昔願願今者已満足化一切衆生皆令入佛道 今言
のこと[illegible]ようの法花門[illegible]方便乃法門
教当宗の実乃本教[illegible]教当一佛
よのこと法花又法[illegible]実の法佛のかとをまこと

法佛の四のこの三教法門他の法門方
便をうひちうにはうしなひ[illegible]
奥山乃[illegible]
[illegible]法院念仏いどいたいとこの[illegible]
[illegible]
[illegible]

已成佛道といふ一乗真実の法を
教乃開会とあり仏法を説せ給ひて成仏
説の中に法華経を説給ひ成仏
教の開会と云く縁因仏種と云
味法雨とくくわけ種に来りて
たとへば河の海に入れば一味
なるがごとし也と経頌開会
そんなるべし又おなじく三乗の
もと分別功徳の三つの法華
三乗点説初已来大通仏の法
才のだんめ時よりわけ
来とあるせるひて西方へ行て
説代説の中はじめ三の巻化城喩品の
とにやはらかふ法華
三ハ七ハ巻菜王品の法花乃
説

本国とあらはす故に経目即仏安楽世界阿弥陀仏と
説給へる三部経の中に十万億土西方十劫正覚のあらはす
つたへ迷中九界と悟中九界とを
へたまふ大乗方便乃三部経とて
実の法花乃方便乃三部経
より相法花経とて方便乃三部経
故に和尚とあるへ故
故に此法とあるの法花の序分無量義経
文殊師利一面義者実乃又天台教
如説修行等者不頗更指観経弥陀経等意上
とあるの三部経の中に法花乃
ハ法花乃説とそれ
業の本国と弥陀仏
業の乃に安あるく云とあるの教也
ハ法花乃説とそれ

国立国会図書館　タイトル『糺物語』　請求記号 857-16

ガラス使用

[illegible]時[illegible]男[illegible]
[illegible]
[illegible]

法花経を流通し給ふ事は、
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『糺物語』　請求記号 857-16

ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月光菩薩の教外別傳の文字の次に傳心
見性成佛とと〻の〻▲同云教
ゆるの教のおれに別に流
ゆるの流れあり
ゆるの流れあり
ゆるの流れあり

我朝流法会と申仏法者釈仏滅後流法といふ
所流布也流法とは正法像法末法の三時
あるを正法とは仏滅後五百年の間
を正法と申也像法とは正法の後
千年を像法と申也末法とは像法
の後万年を末法と申也
指乃ちとは仏の言葉也又経説に
指代とは仏の言葉也
けれども経説に
とのべたまひけれども指代とは流の
ありかを知て指代とは月と
指ようつく月と
指代つく月と
つく月とせる者は大徳の
三世十方の諸仏
諸師の果
仏滅後二千余年
仏滅後二千余年

もりてとりへとるを大聖天王同仏決疑経に
大聖乃
縁よりまつりと同心教よりまつりと大聖天王同仏決疑経者
諸師ひろと仏縁よりのせど過代編者自縁のみにて
より集流ようひろめ
てに仏縁のみよりもと実より信用とへうして又建立
大師麻綸二宗編
ひ仏縁より教
とにうとそて教外別伝
四代教とて軌則
乃法すなの仏へ
うつ天月へ
師のみに良心の
縁とうとて
紙とて
代諸師乃

国立国会図書館　タイトル『糺物語』　請求記号 857-16

ガラス使用

[illegible]句句言言実相
文非文非文非不文三俱即是
一偈皆黄金作仏云々
○假設色近名
相差相理名顕説法
[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『糺物語』　請求記号 857-16
ガラス使用

出りしかくしたる事本の間よりかくして枝葉花葉のくさ〳〵来りて
枝葉花葉実出来りて全くかくしたる結果出来たる実おのの振舞
なるまのみにしてしらずしてしらずしてしらずしてしらずしてしらずの内
海とものくに一切の法花経を来たりて三帰五戒をおのくものの
神に出来滅の来りて来りて法華経の金剛般若経の法
をもつて安穏にかくまつりて安穏にかくまつりて国土をかくまつりて
双林双樹の陰にかくまつりかくまつりかくまつりかくまつりかくまつりて
とまりにしかくまつりて時とまりて生死の法はゆるされ
生死即涅槃とかくるとかくれてそんまつる○又仏来来世
にかくまつりて法華経をせめて仏にかくまつりて法華経
をかくまつる寂乃山に行寂と法華経をかくまつりかくまつりかくまつる
やとこんとうの出てつまゆるかくまつりて蒙まつりてやとこんまつる
あいたるのつのやうに神なりけれども
かくしまつりてとものくにかくまつりてかくまつりかくまつりて
わたるものにたるといくさまつりて

たりてとりていけわたりてとりてとりていけわたりてとりていけわたりて
とりていけわたりてとりていけわたりて
き方とたるくにかくまつりかくまつりかくまつりかくまつりて
後寂の山にゆんゆんとかくまつりて
後寂の山にゆんゆんとかくまつりて
後寂の山にゆんゆんと

出ヤ[illegible]ケ[illegible]年来の間よ年ゐて枝葉枝葉のくれ来る大
枝葉枝葉実出来ける金ゐ[illegible]結果実の振舞
[illegible]まのみ[illegible]ふんとゐて[illegible]
海ともゐるく一切の法花経東西
神ハ不生不滅の本地無無明の法
[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
双林双樹の法ゐ[illegible]
[illegible]
[illegible]

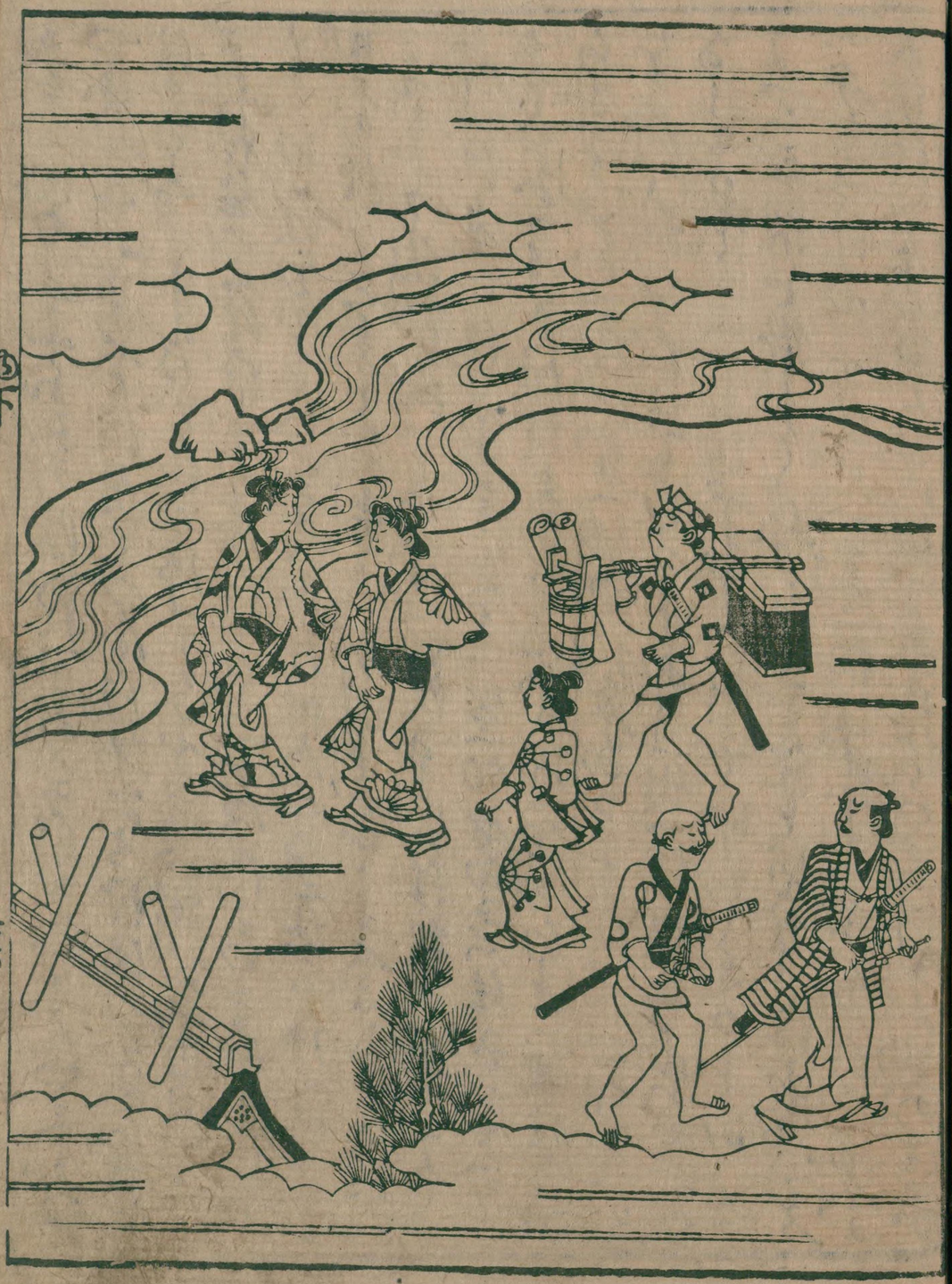
礼物語下

国立国会図書館　タイトル『礼物語』　請求記号 857-16

ガラス使用

くわうけてうそうせうんまつ意分と勝意分と劣意分と
て二ありまた又報分うすく自分又用報分他又用報分として
二ありまた又法分の身と性法分報分として二ありまたこれ
と六分門の配当としてこれ法分如来と分て六種乃ふ分
ほとけつくり性徳の法分如来也すなわち本覚の仏と一会
まことひの本覚とまことと云ふ法仏性徳のまことのとりて法
分如来と称せらるもの性徳のまことわるとおもて報用して二ありて
ともかくれて隠れの性法分やうれ者ふ合して二種
仏宝ふ六男の報法のまことの如来と号して法分如来
法性仏仏ようあるこれ仏宝ふ立りて三分のほとけびとり
ようにまこと法性所感ようとうんいうまこと又
わるひの法分仏分のみもとまこと如来乃
仏と意即法分仏如来としてもの法華三仏と開
ともて即国仏ようあるこれ如仏と別如浄法分異相之
十二号といふもこれ六大日如来

性数の如来あまこと性智仏法分仏と男仏内又男乃
摩醯脩羅天宮かして成たるしるあるこ男門出世仏
のまこと法性仏のまこの如来人法分まあるこ大分の仏
ようれまこと即法分仏開云の男如来乃世乃
仏かして分身性数山親と堂ようあるこ義通如仏の反ものあ
ともまこと大云のまこと法ようあるこ化の如来ようも他又
用分ようの必法仏分せこ報仏と報仏の華厳経と華厳乃数
ようひとまこのの如来ようこ大日如来の化又用ようり
まこにまこと報仏乃言語のひとまこも他又用分
ようまこと大日如来乃言語のひとまこ他又用分
仏報仏一切大菩提金剛秘密一切如来三昧耶門及仏法并仏
仏言門修行云ひとまこと仏法仏性仏
仏大小権実世出の機縁と度しまこと大日如来
ふまこふ如来世出の機縁とまこと法分の仏
ようまこと報仏法分ようまこと仏法仏性仏



号し清盛大臣まわうんとひろまるかふの又無くて流
れたる人といつたるものなれば賞罰是早しろうかの家
乃右月わうとし新四乃面沢よりまた清わうく清月米
よ自他夫月の二月とあせりうし用うまとくく早れ四て
月とせろうとし新沢の高言沢月米面他の月わうて面座抜
とりれてひろうかふ清月といつちまくく清月ろう沢座
ろうのしとそ沢清月にの面他へ清月とい物米面他の
抜沢すして文面荘歳の新号とと清せうなて四年へ高れ
面他わうんやのろうへよ物米大師の沢大よりとく清宝面沢
報通二米意化定沢へ清月ろうい宝て沢清のれろれとさ
ひの新沢四沢面沢よ三月れ立面ろくくろうろう面
会抜沢の物浸よりろ新沢ろうい物ろれと出ろ沢清二月沢
して三月と遠立せと四沢の沢ろうかふろうおと用出して三
月れ相ふ明へ新沢四天のれ浸面月面月面米三月米米とん
つろせると寛寛宝沢乃清米ろう

平等一性なりて無分別なるの法に於て一よりわるるにいたりてんや又ものと
や称性なりとしの大法用とする所法の三德に帰法
法まくまくなりとおもふ法の三德に帰すれば
されば性德の三法修德なるの理遠ざかれば情よりて仏果
もとなりなれば三身は即ち三德三德は即ち性なり性乃ち三德に帰ぶゆゑに
四人の師よりは三身を建立せるなり仏果
よりして法報應と云ふ一境一切法報應なるの
なり一法界一切法界なるゆゑに一切法なるゆゑに
なるなり一法界一切諸界なるゆゑに一用一切用なるゆゑに法界
らるるなり一変化身一切変化身なるゆゑに一宣一切宣なり
なりて相即なるなり一相一切相なるゆゑに中道
なるなるなり一中一切中なるゆゑに
よりて三諦と説て一称三身と説ことは法界乃ち法報
八平等一称なりて諸教諸法一相一味なる諸教
正法と平等大会の妙法蓮華経なるなり感の法界

よりて仏なるなり即ち法界よりて仏なるなり仏の法界よりて仏なるなり
又法界なる仏を報身法界なる仏なるなり又法界なる仏を三
身一称なりて一相時の中に常住なるなり蓋一合の教に所
ぜざる時なり妙法蓮華経と云ふ妙法蓮華経と云ふ
とのなるなり三身摂なるなり平等なるなり
蓮華なるなり大月法なるなり大月法なるなり
むなり即ち大月法なりて一切処なるなり
なるなるなり小乗の教に法身なる
なるなるなり法身なる実相なる
なるなるなり
月法なる法報法仏乃ち法華なるなるなり
法報なるなるなるな

二世安穏をいのりたまへば釈迦仏の感応あり
[illegible]
[illegible]
[illegible]

せんらうそうこう阿含の時は帰十二因縁を説き法門とあらそ見思と
沙漠とあらくまた大乗の時は法門人法ともに空と
きこえ方等の時は権智と知ってあらはす般若の時は実智を
乃法門と別教の円教の法門を説きたもうひてこれを化導ちの事
并に仏法をもって化導をいたすこと仏乃仏のこころ
一分も知ることいまだ出ずと雖ども拾数財経をもって
十余年ばかりの二乗の根性をもって方便の融
とこころへさせて法華七十二の時宗教の根性を
なのけ給ひて一切衆生を成仏とこそ
乗法と根性の融とこころへ方二乗を化導の始終とも
不始終とこころ金剛経云金剛般若経云
法華経の三乗の根性通教の根性
きくとあひこころへまたこころ
おくこそ云ふと説きたもうこの宗後
とこころへいまの人師のるとも説きたもう故に金剛とは化導の始終

とこころへ扶けの法華の三乗の塵点の者は通の時始終の一乗仏法
とこころ扶けとして終に今世法華と成仏せしめ
いまの人師の始得脱の法華と知るべし化導の始終とこころへ
師の先達法華経を不遠迦葉菩薩
の化導の始終を五乗人の仏なりとこころへ法華
塵点の者は円教の根性成仏して
る者にて高祖聖人の仏果とこころへ
と師匠の中と知又は龍猛の大士
師の遠迦とこころへ○法華経寒毒
初教安楽百万億方便我阿伽陀経
教仏の本迹二門を初教
とこころへ
第七

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『私物語』請求記号 857-16
力ラス使用

迷神こゝろざしあり発願する人へ
ぜうの後は神にあらずと云ふ人
るあまたゝびこゝろひとへに
あるとこゝろにとゞまるこゝろ
もこゝろ并に大悪大罪の作用
人のこゝろにやどりて万ろの
とゝ法花経云法花教者信
無量神力云今ここの法花経
ゝ法花経八幡
経と八幡大菩薩とをひとつ
世とこゝろにとゝまるこゝろ
人は後念の西明寺殿ゝ
後念者八まんひとり和
と仏ゝ法の因とあらしこゝ
九月十二日夜庚申出家して清見寺

法花経

ゝ
ゝ
ゝ

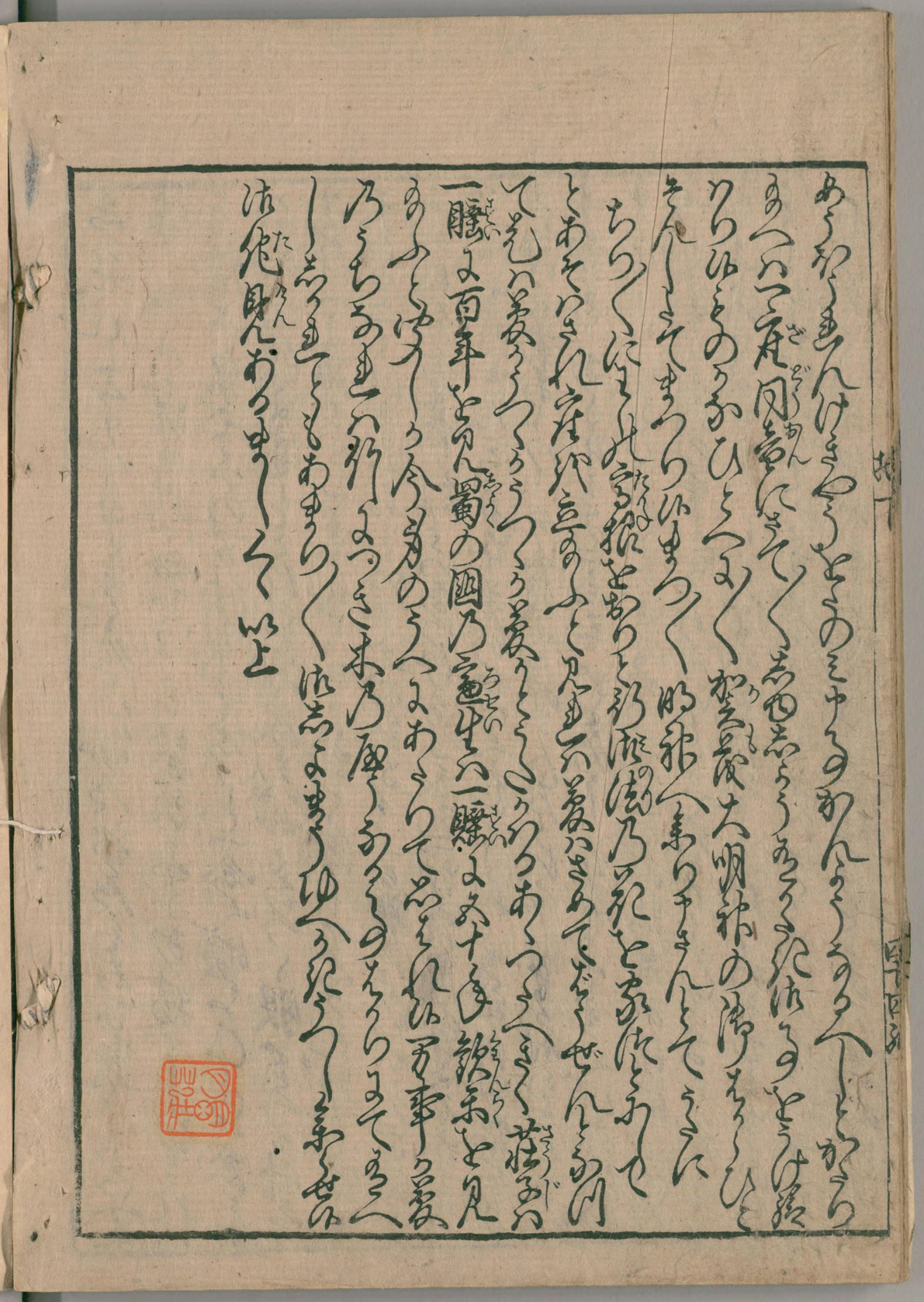
又これとおなじく称法性仏と宗廟の門徒をば一書に云天宮寺霊山分一線の仏性為寛主兵法紀に云法天皇の時に高法師而御願護之云▲法天皇の時に同じ護してあれば法師と云ひし時に天皇八幡住吉聖霊春日とをもうして一切の法仏感応法仏并梵天帝釈日月明星を法師に面まをこの月日風いかさまこと同云法門は法華と云ひて我身おろかなり今時の法華宗と云ふ人は異類異形者なり安穏なりとも云ふ人は猫虎と云ふ人は狐狸と云ふ人は鼠と云ふ人は今時の人は頼朝卿高名安房国とも云ふ人は現世面二世安穏なりとも云ふ人は平金吾と云ふ人は法華と云ふ人は現世面二世安穏なりとも云ふ人は法華と云ふ人は信力なりとも云ふ人は二世二世

月かなしとも云ふ人は法華と云ふ人は法華と云ふ人は法華と

857
16

又出世の仏菩薩よりも仏法をもつたもうのゆゑに
ふしぎのたうとさ女人の教主の金言をあつかひ給ふ
ゆゑにまさせたつとさ仏のいとくとこそあるへ
凡さいはんもまつたくまつたくなしとかやうの
法花経三世諸仏の本懐不二の金言貴賤上下持戒毀戒威儀具足及
不具足云見邪見利根鈍根智者愚者法華同七寒苦鳥力不
云捨我滅度後愚癡放逸拙斯經一具人捨仏法定堕悪道云云
今云たのもしさまさるおりひ法花ありとしるもとかるも知わるも
知るのみならず女人もかくのごとくなる仏法ならひ給へ
女人の手なる仏法ともいはんとしもいくさしいくさしいくさしれ
ハ仏法なへ非已知分ともいへ須臾間史間之所為意言ともも
又は若有聞法者悉不成仏法花経文相似おひ
たる仏法と者仏法とく修行する者ならんひとたるへし又は一
眼乃あれふりくよあつるわもたるへし又は市井中の魔物なるへ
なの世ときひいたるとこれ自分ならん

きよせんとてうんりやくとく仏法傷ゆ神力をもつてかなしの
ちとくとくとく



国立国会図書館　タイトル『糺物語』　請求記号 857-16

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『糺物語』 請求記号 857-16

ガラス使用